

草の根技術協力（草の根パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ペルー国
2. 案件名	クスコ州におけるジェンダー視点に立った子ども主体の防災能力強化事業
3. 事業の背景と必要性	ペルー南部クスコ州パウカルタンボ郡は、地震・洪水・土砂災害・森林火災などの自然災害が頻発し、気候変動によりリスクが増大している。特に山岳地帯で土砂災害に脆弱であり、2024 年には森林火災による深刻な被害も発生した。その一方、地域の防災体制は不十分で、地域の実情を反映していない地区防災計画や防災委員会の機能不全、住民の災害対応力の低さが課題となっている。さらに、男性中心の社会構造（マチスモ）により女性や子どもの声が防災に反映されず、家庭内防災も進んでいないため、脆弱層が災害時に取り残されやすい状況である。学校の防災教育や備品整備も不十分で、子どもに防災知識や主体性が育まれていない。以上から、本事業ではジェンダー視点を含めた子ども主体の防災能力強化活動に取り組んでいく。
4. プロジェクト目標	クスコ州パウカルタンボ郡において、ジェンダー視点に立ったインクルーシブな防災体制を整備し、子ども主体の啓発活動を展開することで、地域と学校の災害リスクを低減する。
5. 対象地域	クスコ州パウカルタンボ郡
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	◎直接受益者：パウカルタンボ郡 4 地区：地区行政官 約 80 人、対象 10 校：校長・教師約 200 人、生徒約 3,200 人、保護者約 2,400 人 ◎間接受益者：パウカルタンボ郡の住民：約 42,000 人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 地区防災計画が策定され、住民に広く周知される。 2. 地区防災委員会の防災能力が強化される。 3. 学校の防災体制が強化される。 4. 子どもが防災知識を身につけ、子どもが主体となる防災啓発活動が行われる。 <活動> 1. 住民参加による地区防災計画の策定・発表イベント・周知、啓発活動 2. 地区防災委員会の設置および能力強化、地区防災委員会による防災啓発活動 3. 学校における保護者及び子どもを巻き込んだ防災啓発活動と能力強化への取組 4. 防災教育ツールの制作および配布、子ども防災クラブ結成による能力強化と啓発活動
8. 実施期間	（西暦）2026 年 1 月～ 2028 年 1 月（ 2 年 1 カ月）
9. 事業費概算額	99,999 千円
10. 相手国側 実施機関	（カウンターパート）パウカルタンボ郡政府 （現地実施・協力機関）パウカルタンボ郡教育局、対象 4 郡の自治体
II. 団体の概要	
1. 実施団体	公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
2. 主な活動内容	子どもの権利が守られ、だれもが差別されない公正な社会を実現するために教育、保健、性と生殖の健康と権利、生計向上、子どもの参加、子どもの保護、緊急人道支援の 7 つの分野に注力し活動している。